

「研究大学強化促進事業」中間評価 進捗状況概要 九州大学

【目的】

躍進百大

研究力のピークアップ・ボトムアップのための研究企画・支援体制の構築
世界最高水準の人材の育成・確保と研究活動を行うための環境整備
→過去5年間の実績を基に世界のトップ百大学に躍進

世界最高水準の研究 イノベーションの創出

- 「アジア、人社会」をテーマにした新たな研究教育機構の設置
第3期中の設置に向けた検討を実施
- エネルギー研究教育機構の発展、カーボンニュートラル(エネルギー国際研究所 (I²CNER(WPI事業))との融合
「エネルギー卓越大学院(仮称)」の設置

グローバルな研究力強化

- 世界大学ランキングでの躍進
目標: H35までに QS:30位、THE:80位
- 国際戦略「TOBIUME」による国際化加速
互恵関係重視のパートナーシップづくり、重点的な連携先の特定を行う
- 研究者の国際化推進
外国人教員等比率
目標: H28: 832人→H35: 1500人 180%増

産学官民連携・地方創成

- ライフサイエンス分野に係る産学官連携の飛躍的増加
共同研究費・受託研究費
目標: H28:127億円→H35:155億円 22%増
- 大学発ベンチャーの創出
(ギャップファンド及び地域と一体の支援体制)
ベンチャー創出 目標:H35までに新たに25件
- 大学発ベンチャー等へのライセンス活動の活発化
特許実施料等収入
目標: H28:0.6億→H35: 1.5億円 250%増

- エネルギー研究教育機構の設置
人社会組織も参画し総合大学の英知を結集
成果:平成28年の上海交通大学の分野別世界大学ランキングで国内最高の26位(エネルギー分野)等
- 異分野融合研究の加速
人社会の融合研究を独自経費(つばさプログラム)で支援(20件)、URAIによる異分野融合ワークショップの開催

- 世界のトップ研究集団との共同研究
学内支援制度「Progress100」により、第一線で活躍する海外研究ユニットを長期間招へい。
成果:大学全体の国際共著論文率
H25:27.2%→H27:31.7%
- 社会科学の大規模国際学会の開催が決定
国際社会で最も権威と影響力のある会議のひとつである「世界社会科学フォーラム(WSSF2018)」を招致

- 産学官連携支援体制の強化、窓口の一元化
専門人材の配置促進
独自制度「組織対応型連携」の推進
共同研究費・受託研究費 H25→H28:48%増
特許実施料等収入 H25→H28:26%増
- 産学官連携拠点の整備
病院地区分室、日本橋サテライトの設置
- ベンチャー創出支援の拡充
専門部署の設置、学内助成事業(ギャップファンD)の創設(H29に10件を支援)

アクションプラン(骨子)

- I 世界最高水準の研究とイノベーション創出
 - II グローバル人材の育成
 - III 先端医療による地域と国際社会への貢献
 - IV 学生・教職員が誇りに思う充実したキャンパスづくり
 - V 組織改革
 - VI 社会と共に発展する大学
- <重点取組>
●研究教育機構創設によるイノベーションの創出
●新学部設置によるグローバルに活躍する人材の育成
●人文社会科学分野等の再編成・機能強化による九州大学の更なる活性化

基盤的支援・人材育成・競争的資金の獲得

- 研究力強化に関する全学委員会の設置。本部事務部門の強化(2課→3課体制へ)
- 学術研究・産学官連携本部(AiRIMaQ)の設置
→研究、産学連携、ベンチャー創出、知財の支援機能を一元化、強化。
- AiRIMaQにURAを配置。独自の人事制度を構築(URAに3つの職階を制定。評価連動型年俸制の導入)
- 若手研究者の養成
(H23以降)21名のテュアトラック制教員を採用。大型研究費獲得、文部科学大臣表彰受賞等の成果)
- 女性研究者支援(独自に「女性枠設定による教員採用・養成システム」を実施。現在の女性比率13.2%)

中間評価結果

評点区分: A-

全体に対する所見

研究力強化のための取組として、数多くの取組がなされ、計画は順調に進捗していると考えられる。一方で、それぞれの取組間の関係性を整理し、ロードマップに沿った研究活動等の具体化・活性化にスピード感を持って取り組むことが必要と考えられる。

当初構想・計画の進捗状況に対する所見

計画はほぼ順調に進捗しているものの、研究力強化に向けた一層の努力が期待され、本事業終了後にも継続的な取組ができる体制の整備が必要と考えられる。研究から産学官連携を一気通貫する体制として「学術研究・産学官連携推進委員会」を設置したことは評価できる。

今後5年間の将来構想に対する所見

将来構想の実現にあたり、成果目標を早期に掲げ、具体的な課題・計画を設定し、目標の達成に向けたロールモデルの構築が求められる。